

科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもと人間関係			科目コード	24Y102	担当者	小槻 智彩			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	領域及び保育内容の指導法に関する科目
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、子どもの人との関わりの育ちについて授業を行う。						科目に含めることが必要な事項	領域に関する専門的事項（人間関係）		

授業の主題	子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえながら、子どもの人との関わりの育ちについて学ぶ。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドと映像資料を使用した講義形式を基本とする。 受講生には教員が作成した授業資料を配布する。 受講生は授業前課題を行い、毎回の授業の最後にはミニッツペーパーを提出する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	子どもと人間関係の理解を深めるために、受講生は授業前に各自で保育場面の事例の検討を行い、その内容に基づいてグループディスカッションを行う。 授業内容の振り返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	領域「人間関係」について：人との関わりを育てる保育の基本	事前：自分の過去を振り返り、子どもの人との関わりの育ちについて自分の考えをまとめる。 事後：人との関わりを育てる保育について要点をまとめる。	
第2回	0・1歳児の育ちと人間関係：愛着と信頼感	事前：0・1歳児の事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：0・1歳児の育ちと人間関係について要点をまとめる。	
第3回	1・2歳児の育ちと人間関係：自己存在への気づきと自我の芽生え	事前：1・2歳児の事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：1・2歳児の育ちと人間関係について要点をまとめる。	
第4回	3歳児の育ちと人間関係：他者の存在への気づき	事前：3歳児の事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：3歳児の育ちと人間関係について要点をまとめる。	
第5回	4歳児の育ちと人間関係：自己主張	事前：4歳児の事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：4歳児の育ちと人間関係について要点をまとめる。	
第6回	5歳児の育ちと人間関係：集団の中にある自分への気づきと道徳性	事前：5歳児の事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：5歳児の育ちと人間関係について要点をまとめる。	
第7回	個別の特性と人間関係	事前：個別の特性に関わる事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：個別の特性と人間関係について要点をまとめる。	
第8回	保護者との関わり	事前：保護者に関わる事例を検討し、子どもの人間関係について自分の考えをまとめる。 事後：保護者との関わりについて要点をまとめる。	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	幼稚園教育要領/文部科学省、保育所保育指針/厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領/内閣府・文部科学省・厚生労働省、幼稚園教育要領解説/文部科学省、保育所保育指針解説/厚生労働省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説/内閣府・文部科学省・厚生労働省	受講生へのメッセージ	子どもと人間関係づくりは保育の基盤になるものです。子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえながら、子どもの人との関わりの育ちについて学びましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	事例と図解で学ぶ保育実践 子ども心の育ちと人間関係一人を育てるためのかわかりと援助ー/寺見陽子/教育情報出版		

